

## 第5回

ハナ勘デジカメ講座 2006  
ゼロから始めるデジタル一眼レフ

今月は、第5水曜日の30日です。カメラと撮影編の最後を飾るのは構図の基本！弊社、永田撮影部長が解説いたします。デジタル一眼レフの使い方を覚えただけでは、いい作品は撮れません。構図の基本をしっかりマスターして下さい。また、前回、ご説明できなかった、デジカメの欠点についても説明いたします。

## ●第5回『構図の基本とデジカメの欠点』

\*日 時：8月30日(水) 18:00~20:00 \*会 費：¥1,000 \*定 員：15名  
\*申 込：お電話、メール、店頭にて（お車で来られる方は、申込時にお知らせ下さい。）

◆9月から第2部「パソコンと画像処理編」が始まりますが、その前に『パソコンの初歩の初歩（用語説明）』を希望者がおられれば実施したいと考えています。私も初めてパソコンに向かった時、専門用語がチンプンカンプンで途方にくれた経験があります（CPU・2次キャッシュ・メモリ・ATAにUSBやら???）。同じように意味もわからず、何となくパソコンをお使いになっている方も多いのではと思います。これからパソコンを始められる方でもパソコン教室に通う前に聞いておけば役立つと思います。希望される方は、お電話にてご連絡ください。お一人でもおられれば、日時を決めて直接、お知らせいたします。

## 《充電式電池のお話》

デジタルカメラにとって、なくてはならないのが電池とメモ리카ードですが、今回は充電式電池について書かせて頂きます。『ハナ勘デジタルニュース』のNo.13でも書きましたが、少し事情が変わり、6月のデジカメ講座で説明させて頂いた内容をまとめてみました。さて、デジタルカメラは消費電力が大きいので、ほとんどのデジカメで携帯電話と同じ充電式のリチウムイオン電池が使われていますが、一般的な単三・単四型電池を使用するデジカメもあります。ただ、普通のアルカリ電池では、あまりにも短時間で消耗してしまいますし、オキシライド電池でもせいぜい2倍程度、専用のリチウム電池などはコストが高くなりますので、やはり充電式電池のご使用をおすすめします。単三型の充電式電池はリチウムイオン電池ではなく、ニッケル水素電池が使われていますが、従来のニッケル水素電池はメモリ効果（まだ電池の容量が残っている状態で継ぎ足し充電を行うと継ぎ足した分しか使用できなくなる現象で、繰り返すことにより電池の寿命が著しく低下してしまいます。）が大きく、自己放電も早いので必ず使い切ってから充電するか、充電する前に放電させる必要があります。また、長期間、使用しない時は充電してから保管して、使う時に放電させて充電をやり直さなければならず不便でした。かたや、リチウムイオン電池はメモリ効果も自己放電も少

なく気にせず使用できて便利です。ならば、単三型電池にも採用すればと誰もが思うのですが、常用域の電圧が高いため対応していない電気製品で使用すると非常に危険なので、単三型などの汎用型の物は、まず作られていません。そのため、それぞれの製品に合わせた特殊な形状をしていて価格も高くなるわけです。と、ここまでは3年前と同じ説明ですが、今ではニッケル水素電池でもメモリ効果と自己放電のほとんどない製品が開発され販売されています。三洋電機の『エネループ』などですが、通常の充電しない電池は、採算が取れないためリサイクルされていませんが、充電式電池はリチウムイオン電池も含めリサイクルされていますので、環境問題を考えるとデジカメでなくても、もっと普及した方が良いのではと思います。ニッケル水素電池のもう一つの利点は、低温に強いことです。アルカリ電池は、零度付近になると電圧が低下し動作しなくなりますが、ニッケル水素電池はマイナス20℃位までなら問題なく動いてくれますので、雪景色や寒い日の撮影にはおすすめです。さて、リチウムイオン電池も新開発のニッケル水素電池もメモリ効果が少ないので気にせず継ぎ足し充電ができますが、充電した回数で劣化していきますので、なるべく使い切ってから充電する方が長く使用できます。

